

舗装・坂道・照明はどうなる？

神門通りの道づくり

其の
八

平成 23 年
7 月 11 日

島根県
出雲県土整備事務所
都市整備グループ
電話：30-5666



案を提示して議論

デザインワークショップはじまる

六月二十四日の夜、大社文化プレイスうらら館にて、神門通りの石畳や路面のデザイン、照明などについて議論する「デザインワークショップ」の第一回目を開催しました。

平成二十二年度に開催した「道づくりワークショップ」では、車道、歩道の構成など、道路の基本的なつくりを議論しましたが、今年度は「デザインワークショップ」と名称を変えて、道路景観と照明のデザインナー二人を招き、路面のデザインや、照明、勢溜まりに近い坂道部分の歩道の整備の考え方をテーマに、より具体的なデザインの検討を行うことにしています。

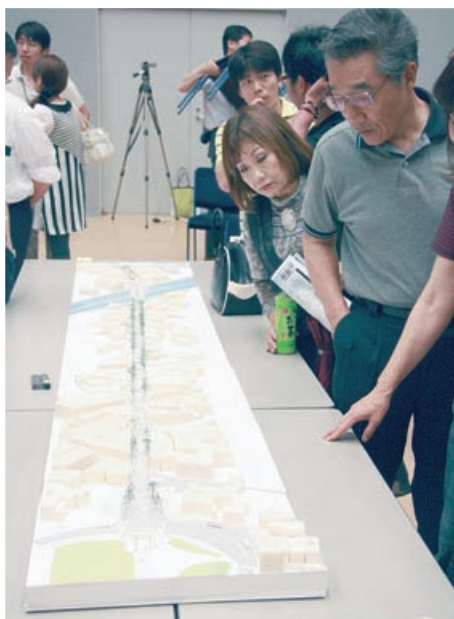
第一回目となるこの日は、地域の住民の方々を中心に約八十名の参加となり、道路景観デザイン的设计者である小野寺康さんが、神門通りの模型を用いて、石畳のデザインを説明。さらに照明デザインを担当する南雲勝志さんからは、松葉のようなデザインの照明について説明がありました。

参加者からは、「石畳は力強いデザインにしてほしい」「雨が降ったときのすべりやすさはどうか」など様々な意見が出されました。ワークショップは二十三年度中に三回の開催を予定しており、次回は八月下旬の開催。道路に実際の石材を並べたり、照明の試作を設置し、景観としてどのように見えるかを確認、意見をいただきます。なお、七月中旬には、大社町庁築南に完成後のイメージスケッチや、模型を展示するPR館を開設する予定です。

神々のふるさと 出雲の国の神門通り 祈りの道、そして出会いの道

設計者から提示されたデザインの考え方

こまごまとデザインせず、強い素材感と造形力を持った 力強い一本の通りとしてデザインする



計画案を模型を用いて設計者が説明

デザインコンセプト

<全体的なイメージ>

- 祈りのため、あるいはご縁を願って歩いた道
- 出雲大社に参詣する表参道、祈りと出会い（神々との交流、縁結び、地域の人々・参詣者との交流）
- 「神門通り」という名前をアピールしたい
- 出雲は日本神話のふるさと
→ 「神話」や「歴史」を示唆したい
- 全国にアピールできるフレーズでありたい
- 参詣者は物見遊山もあるが、それよりも、心からお参りしたいという若い女性も多い、そういう人たちにアピールする言葉
- 神々との出会い、人々との出会いがこの道にはある、という意味を込めたい

<その他安全面など>

- 自動車には、慎重に運転すべき道ということの間接的に伝えたい

デザインのポイント

1. 参道としてのデザイン
2. 車道舗装としてのデザイン
3. シェアドスペースとしてのデザイン
4. 賑わい空間としてのデザイン

<デザインワークショップの前提>

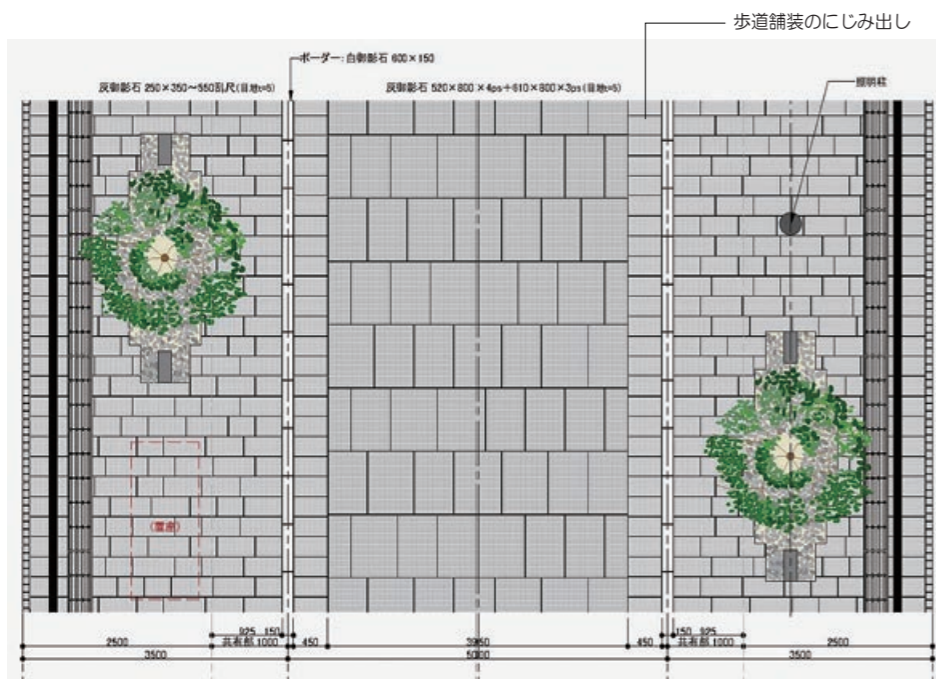
平成22年度に検討した結果決定した道路の基本構成（下図）をもとに舗装デザイン、照明デザインなど、より具体的な検討を行います。

3.5m (歩道) 5.0m (車道) 3.5m (歩道)



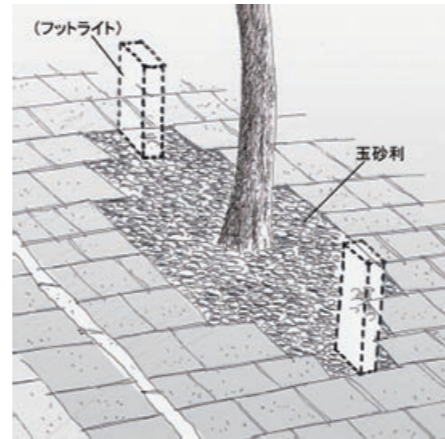
計画

舗装デザインについての意見



道路舗装（歩道・車道）のデザイン

- ・手加工の大判の石材をランダムに使う
- ・縦に目地を通さずに縦づかいの石畳にする
- ・歩道舗装の車道へのにじみ出しデザイン
- ・落ち着いたグレーの御影石が基本か
- ・単調にならないよう、複数の石材を混ぜ合わせて風合いを出す



植栽柵のデザイン

- ・植栽柵を拡大する（通りの長手方向に）
- ・透水しつつ上を歩ける仕様（玉砂利など）

○…賛成意見 !…疑問・提案 ▼…反対意見

- 石畳でよい
- 歩道は歩きやすい石材が良いと思う。
- 石畳 good!
- 石畳の使い方がよい。
- 路面デザインは非常に良いと思う。
- 先日、津和野を訪問した際、路面のデザインが心地良かったので、今回のデザインはうれしい。
- ! 昔の神門通りは石畳だったが、そのデザインを参考にしてはどうか？
- 石畳の色、素材、はり方は？
- ! 歩道と車道の石の色を明確にする。
- ! 路面デザイン案は、手加工で縦づかいの石畳等、出雲大社までの参道にふさわしいと思う。
- ! 原案をベースに！
- ! 歩道の色は、もう少し明るい方が良いのではないか。
- ! 石畳の他の色の候補は？
- ! 石畳は可能な限り荒い感じ、力強い感じにしてもらいたい。
- 石畳の目地の案は良いと思う。
- ! 交差点（勢溜前）はランダムな感じが

- おしゃれで、車の運転もその場所は注意できると思う。
- ! 松の間隔とのバランスを考えた方が良い。
- シェアドスペース
- ラインと石畳の置き方で効果を出すのは良い。
- 提案でOK。シェアドスペースは必要。
- 歩道デザインの車道へのにじみ出しはよいのか？
- ▼歩道舗装のにじみ出しは危険ではないか？現在でも歩行者は車道にはみ出て歩いているから、より一層はみ出るのでは？
- ! 歩道の車道へのにじみ出し方式が良い。
- ▼植栽柵を拡大した場合、歩道を横切った場所にある駐車スペースに出入りがしにくくなる。フットライトがつけば、なおのこと出入りできない。
- 交差点デザイン
- ! 交差点は、石の色を直進に合わせる。

- ! 交差点は進行方向（車）がすぐ分かるように色分けする。
- ▼交差点で石畳のイメージがとぎれるのはどうか？
- 歩道・車道の舗装材の強度は？
- ! 車道は車の重量などに耐えられる素材が良いと思う。
- ▼歩道で来待石や福光石を使用した場合、本当に強度は大丈夫か？
- ▼強度を理由に県外の石材を使われるようだが、大型車をう回させれば済むことと思う。
- 滑る危険は？
- ▼鹿島神宮、おかげ横町、津和野は雪が少ないが、大社は雪、凍結（一方通行の場合、上りで止まった時）等があり御影石の場合心配。
- ! 雨が降った際、滑る危険性（特に女性のヒール等）が無いかどうか。
- ! 石畳に砂がたまって、滑りやすくないか？
- コストは？
- ! 舗装の仕様によってコストがどれくらい違ってくるか？

照明デザインについて

- <支柱のデザイン・高さ・間隔>
- ・安易なモチーフの引用は避け、清楚で素朴な造形が相応しい。
- ・古くから使われていた金属、鉄等味わいのある素材を使う。
- ・20m から 30m 程度間隔。高さは 3 ~ 4m（ヒューマンスケールを考慮）

- <あかりのデザイン>
- ・素材としてのあかりにこだわり「火」や「炎」などあかりそのものを表現する。



フットライトのデザイン

- ・車道と直行方向に光を照射することにより、歩道の安全性の確保と石張り表面の演出を行う。
- ・直接光源を見せない。



歩道照明のデザイン

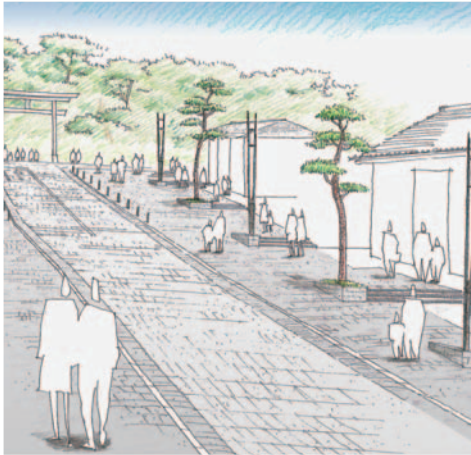
●歩車道照明デザインの評価

- 提示された照明デザインは好きだ。
- 照明の形は神門通りに合っている。
- 街灯のデザインは気に入った。
- 良いと思う。
- たいまつをも感じさせるような雰囲気があり、古代のイメージも湧く。
- ! 照明デザインに、もう少し神聖な要素が欲しい。
- ! 照明のデザインは、灯籠の形をしたものでも良いのではと思う。
- 大社造等を模したものでないのは良い。
- 照明デザインは素明りで竹のイメージもあり、松並木にも合うと思う。
- 丸味が良い。
- 丸い形が和を引き出せるのではないか。
- 形は丸みがあった方がよい。
- ! 門前町のイメージとしては、ちようちんやぼんぼりであり、軒下から照らすイメージで。
- ! 街灯はもう少しゴツイ感じもありかなと（全体としては Good !）。

- 本物の素材の質感を生かす考え方に賛成だ。
- ! 照明器具の素材が鉄とのことだが、塩害で錆びたりボロボロめくれる状態の心配はないか。
- ! 基盤が石材を使用しているので、照明を石材で制作しては？
- ! 混合石材で照明をつくれないうか。
- 歩車道照明のあかり
- ! 照明は明るすぎず暗すぎず。
- ! 照明（高）は昼光より白色でソフトな感じ。
- フットライトの評価
- ▼フットライトは必要ないのでは。
- フットライトに来待石を使うのはすばらしい。
- フットライトの来待石は良い感じに思う。
- フットライトは正月の夜の参拝や夜のイベントに有効だと思う。
- ▼フットライトのデザインがシンプルすぎでは？
- ! フラットライトは邪魔になるので、埋め込みのライトが良いと思う。

- 行事・祭りのときの装置として
- ! 大社の祭事等、地域行事を歩行者に認知してもらおう装置としての利用はどうか。
- ! 今まで出雲大社のお祭り（教会祭・お正月）、ご縁祭りなど、ちようちんをかざして賑わいを出していたが、何かそれに変わるものはないか？賑わいづくりの照明として。
- 狭くならないか、邪魔にならないか
- ! ガソリンスタンドの車両進入の邪魔にならないように。
- ! 照明などが歩道にありすぎると、車を横づけすることが多いこの通りで問題ないか？
- ! 松・照明・フットライトとあると、狭く感じないか？実際、歩道スペースが狭くならないか？
- ! 夜の歩行者やお店（営業を行っている）を考える必要がある。

坂道のデザインについての意見



坂道のデザイン

・勢溜り前の坂道は勾配がきついため、歩道の敷地側に階段を複数箇所設置する。

●坂道の階段の考え方はよい

- 松や石段の見た目はおもしろそう。
- 坂道は原案どおりで良い。
- 提案でOK。

●デザインの工夫・アイデア

- ！坂道の階段ですが、車道側に階段が良いと思う。
- ！フラット(坂)部と階段部との接点(スリ合せ)が歩行に支障ないように。
- ！道路かみ合わせの思考は重要だ。
- ！出雲大社が引き立つようなデザイン。
- ！昔あった石畳(ウロコ状)のデザインを活かしたらどうか？
- ！坂道部に賑わいの舞台(紙芝居をしたり)のようなものができないか。
- ！店前へ寄ったり、車道へ寄ったり、うねうねと青石や黒石で誘導しては。
- ！石畳の階段の中央部にスロープを

作ったらどうか。

●安全対策

- ！坂道部分の段になっている所に、手すりがあつた方がよいのでは？
- 歩道の安全対策(段をつけて斜度をゆるやかに)凍結対策としてはOK。
- ▼車椅子等が車道側になって、やや心配？
- ▼坂道で自然石は、すべったりしやすいのでは？

●車止めは？

- ▼上部の方に車止めということだが、必要ないと思う。
- ！車止めはスッキリした形で！
- ！坂道部の車止めは、どんな感じでしょうか？形などには、こだわって欲しいと思う。

その他の意見

●コンセプト

- 素敵なコンセプトだった。
- シェアドスペースは安全？
- ▼シェアドスペースの必要性は？逆に危なくないか？
- ！歩行者の『安心感』につながる道づくりをデザインしていきたい。

●点字ブロックどうする？

- ！点字ブロックは、どう組み込むの？
- ！点字ブロックを設置するならば、置座との位置関係を考えて欲しい。

●自転車は？

- ▼シェアドスペースで自転車のスペースがない。歩道を通せば歩行者の迷惑になる。

●植栽スペース

- ！松の木の根が石畳を起こさないのか？
- ！植栽柵の玉砂利はすごくいい感じだと思う。これを歩道と店舗の間の空きスペースにも敷いては？

●タペストリー、提灯などの扱い

- ！賑わいとおしゃれな通りのためのタペ

ストリーをつるすには？

- ！行事毎に飾る提灯とのバランスを考えてみる必要性。
- 通りにアクセントを
- ！参拝の一里塚を。
- ！歩道のちょっとした所にポイントを。大きめの石で何か絵とか神話とか。
- ！参道の賑わいが、まち全体に波及す

るような要素を。

●まちなみづくり

- ！庇をしっかりと出すように。
- ！勢溜りの交差点改良でかなりの家屋移
- ！転が出たが、門前通りも今後改築工事の際は、2メートル引くようにされてはどうか。



通りと街なみの全体イメージ

郵便はがき

料金を受取人払郵便

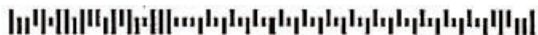
6 9 3 8 7 9 0

065

出雲支店
承認

出雲市大津町1139番地
島根県出雲県土整備事務所
土木工務部 都市整備グループ 行

差出有効期間
平成 24年
3月31日まで
切手をはらずに
お出しください



該当するものに○をつけてください

- ①住所 a. 神門通り近隣 b. 大社町内 c. 大社町外
- ②性別 a. 男性 b. 女性
- ③年齢 a. 20歳未満 b. 20歳代 c. 30歳代
d. 40歳代 e. 50歳代 f. 60歳以上
- ④職業 a. 会社員 b. 自営業 c. 農業
d. 公務員 e. 主婦 f. 学生 g. その他 ()

※以下は記入されなくても結構です

〒 _____ 電話 _____
名前 _____ 住所 _____

スケジュール

今回

第1回デザインワークショップ
デザイン計画案を提示して意見、アイデアを抽出する
平成23年6月24日実施

第2回デザインワークショップ
第1回での意見を踏まえた計画案修正と現地での石材、
照明模型による確認
平成23年8月下旬実施予定

第3回デザインワークショップ
デザイン計画最終案を提示して整備に向けた合意形成を
はかる
実施時期未定

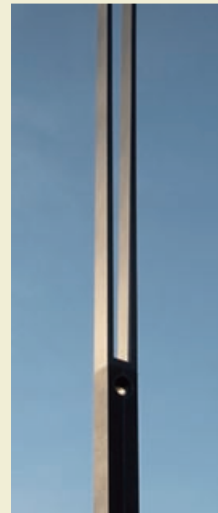
設計者から紹介された各地の道路デザインの要素



舗装材料（石材）のイメージく松山市



歩道照明デザインのイメージ
く八王子市

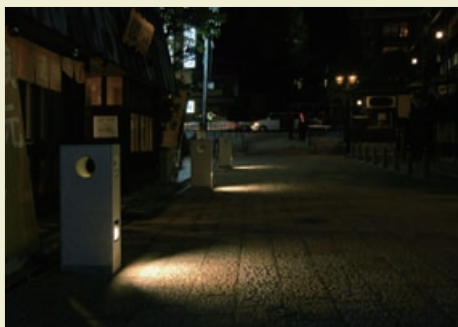


鉄の造形イメージ（鉄錆）



道路舗装のデザインイメージく津和野町

歩道素材の車道への「にじみ出し」



フットライト（石材）のイメージく松山市



桑子敏雄（くわことしお）

東京工業大学教授。社会基盤整備をめぐる市民と行政、市民と市民、行政機関どうしの合意形成の現場で当事者として実践活動を行うとともに、理論と技術の構築に努めている。著書に『風景のなかの環境哲学』（東京大学出版会）、『日本文化の空間学』（編著、東信堂）。

アンケート回答用紙

質問① 神門通りについてのご意見を下さい

質問② ワークショップや計画の進めかたについてご意見ください

質問③ ご自由に意見を下さい

設計者

道路景観デザイン



小野寺康（おのでら・やすし）

小野寺康都市設計事務所 代表。東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻修士課程修了。株式会社アプル総合計画事務所を経て、'93年小野寺康都市設計事務所を設立。著書に「GS軍団奮闘記 都市の水辺をデザインする（共著）」等。主な設計作品に、門司港レトロ地区環境整備、油津 堀川運河（以上、土木学会デザイン賞最優秀賞）。島根では津和野町の本町・祇園丁通りの設計に関わる。

照明デザイン



南雲勝志（なぐもかつし）

ナグモデザイン事務所 代表 東京造形大学 室内建築科卒業後、永原浄デザイン研究所を経て、1987年ナグモデザイン事務所設立。景観・土木のデザインから家具、インテリア、照明デザインなど、様々な分野で活動中。家具や環境、プロダクトのデザインを通じて、社会やまちづくりにおけるデザインの可能性を探る。著書「デザイン図鑑+ナグモノガタリ」（ラトルズ）など。